

令和3年(2021年)4月24日 (土曜日)

GW三島が案内 源兵衛川周辺散策

修学旅行で環境再生学ぶ

下田・南伊豆分校

下田高南伊豆分校の3年生13人が23日まで1泊2日の修学旅行で三島市を訪れ、体験学習を行った。NPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)の案内

で源兵衛川の水辺周辺を散策し、環境再生と湧水を生かした町づくりを学んだ。

同校は新型コロナウイルス感染症の影響で関西方面の旅行を、三島市に変更した。生徒たちは22日夜、宿泊した市内のホテルで、同日、溶岩の間から湧き

NPOの渡辺豊博専務から、地域の再生に高校生が果たす役割の重要性などを聞いた。晴天に恵まれた翌日、溶岩の間から湧き



GW三島のスタッフの案内で湧水が流れる白滝公園を散策する南伊豆分校の生徒たち。三島市一番町

水が出る白滝公園、カワセミの生息地である水の苑緑地、ミシマバヤカモの増殖基地で水源地の三島梅花藻の里などを歩いて見学。同NPOスタッフから、住民と協力して復活させた経緯や現状などを熱心に聞いた。

同行した谷野公彦教頭は「この学習により自分たちの地域で生きていくこと、働くことを考えてもらえればと思う」と話した。同NPO事務局の美和将弘さんは「三島の環境再生を参考に、いろいろな分野で行動してほしい」と述べた。

三島市には26日にも滋賀県の中学生が修学旅行で訪れ、同NPOが案内する。